注意事項

1. 他のコンクール等に入賞した作品は応募できません（校内コンクールは可）。
2. 応募に当たり、他の著作物等を参考にしている場合は、参考資料として出典を必ず明記してください。
3. 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。また、作品・制作者・学校名等は公表するとともに、入賞作品については主催者が別途展示または使用することがあります。
4. 応募作品は返却いたしません。文化祭・学園祭などに展示する予定の場合には、コピーを取って送ってください。
5. 審査の際、個人またはグループ作品の別、応募者の学年を配慮します。

個人情報の取扱いについて

1. 応募によりご提供いただいた個人情報は、事務局で厳重に管理し、「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト運営上の各種手続き（応募に関する結果連絡、賞品の発送、入賞者・作品の発表等）以外には利用しません。
2. 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテストは事務局運営を(株)プラスエムに委託しています。

作品の送り先 お問い合わせ先

全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-6　群成舎ビル6階(プラスエム内)

※祝日を除く月～金　10:00～17:00

Eメール：mizu-shinbun@plus-m.co.jp　電話03-6222-5251

FAX 03-6222-4823

キリトリ

第1回 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト 応募票

「個人情報の取り扱いについて」に同意し、応募します。

[応募部門（どちらかを○で囲む）]　低学年の部　高学年の部	
[作品の題名（ふりがな）]	
[学校名・学年（ふりがな）]	[学年]　年生
[氏名（ふりがな）] ※グループの場合は代表者の氏名と人数	
[担当の先生（ふりがな）]	
[学校所在地] 〒	
[学校の電話番号]	

※学校でまとめて送る場合は、学校名・ご担当の先生名を明記した応募用紙に、応募部門と応募者題名・学年をご記入ください。作品ごとの応募票は不要です。

しらべてみよう！たいせつな水のこと

SEDIA Foundation

第1回 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト

全国の小学生ならどなたでも

作品大募集！

応募者全員にすてきなプレゼント！

しめきり　2015年10月10日(土)（当日消印有効）

対　象　全国の小学生、個人またはグループ（海外の日本人学校も含む）　※学校でまとめての応募も歓迎

主催：公益財団法人 セディア財団

後援：全国市町村教育委員会連合会 / 全国連合小学校長会 / 全国小学校社会科研究協議会 / 全国小学校理科研究協議会 / 日本初等理科教育研究会 / 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 / 全国新聞教育研究協議会 / 全国小中学校環境教育研究会

募集内容　わたしたちのくらしに欠かすことのできない、大切な“水”について調べたり、学習したことなどをまとめた「かべ新聞」や「学習新聞」。

テーマ　「わたしたちのくらしと水」　※下のテーマ例などを参考にして自由に決めてください。

- ○ 学校や家で使う水はどこからくるのかな?
- ○ 使ったあとの水はどうなるの?
- ○ 水を大切に使うためのくふう
- ○ 植物や作物などを上手に育てる水のやり方
- ○ 水のパワーをくらしに活かす方法
- ○ 世界の国々の水の使い方
- ○ 井戸ってなに?むかしの水とくらし
- ○ もしも水道がなかったら?

応募方法

1. 応募作品には1点ごとに、次の事項を明記した応募票を添付してください。

①応募部門　②作品の題名　③学校名・学年
④氏名(グループの場合は全員の氏名)　⑤学校住所・電話番号　⑥担当教諭名

※裏面の応募票をご利用ください。
※学校でまとめて応募する場合、封筒の表面に「応募部門ごとの点数」を大きく朱書きしてください。
※応募票はセディア財団またはプラスエムのホームページからもダウンロードできます。

2. 作品は新聞形式のもので、もぞう紙・学習新聞用紙など大きさは自由とします(タテ書き・ヨコ書き自由)。なお、低学年の部では、絵日記風の新聞でも可とします。
3. 画材は自由で、カラーでもモノクロでも自由。また、イラスト・マンガ・写真などを入れることも自由です。
4. 手書きまたはパソコン・デジタルカメラ等の使用も自由です。

募集部門　低学年の部(小学1年生～3年生)、高学年の部(小学4年生～6年生)

しめきり　2015年10月10日(土)(当日消印有効)

発　表　発表:12月予定 日本経済新聞「NIKKEIプラス1」広告紙面 主催者及び運営事務局のホームページ

賞と賞品

[個人またはグループ賞]

最優秀賞(セディア財団賞)
全作品より1作品
賞状、記念盾、副賞(図書カード5万円分)

優秀賞
両部門計4作品
賞状、記念盾、副賞(図書カード2万円分)

佳　作
両部門計10作品
賞状・賞品(同2,000円分)

努力賞
両部門計20作品程度
賞状、賞品(同1,000円分)

[学校賞]

学校奨励賞
2校
賞状、記念盾、副賞(図書カード5万円分)
※優秀な作品を多数応募した2校を奨励の意味で表彰。
※授与は主催者が受賞校を訪問して全校児童が集まる朝礼等で実施します。

参加賞
応募者全員に記念品

最終審査委員(予定)

角屋　重樹
日本体育大学児童スポーツ教育学部教授(元文部科学省教科調査官:理科)＊審査委員長

北　　俊夫
国士舘大学体育学部教授(元文部科学省教科調査官:社会)

全国小学校社会科研究協議会
全国小学校理科研究協議会
全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会
全国新聞教育研究協議会
主催者代表者(セディア財団)
「敬称略」